

BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



2006.9.21
Vol.86

【特集】 次期コンgresに向けて

CONTENTS

巻頭メッセージ

次期コンgresに参加しませんか

コンgresへの取り組みについての意見交換会開催

役員会報告

次期コンgresに向けて・他

第6回東アジアフォーラム報告

BPW News International 動向

BPW 会員の近況報告より

お知らせ

日本BPW 連合会ニュースレター

発行人：黒崎伸子 広報委員会編集

日本BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

次期コンgres・メリダ・コンgresに参加しませんか

次期コンgresは、2008年秋、メキシコのメリダ市で開催される。コンgresに参加する意義は大きく分けて3つ。①は決議案や規約改正案の論議に参加し日本としての意見を反映させること、②は世界のBPW会員と意見を交換し情報を共有すること、③は機会を利用して観光や文化の交流を体験すること。特に今回はメキシコの首都、メキシコシティから、列車又は航空機を利用して到着するユカタン半島の右端の町メリダ。こんな機会でもなければ訪れる機会はないかもしれない。是非今から日程の調整を。



コンgresへの取り組みについて意見交換会を開催

日本BPWとしての取り組みを話し合う機会がほしいという評議会でのご意見を受けて、7月8日東京・船堀で意見交換会が行なわれた。参加したのは、役員のほか、武蔵野クラブの大森さんら6人。これまでコンgresに参加しての経験や、それぞれの立場から多くの意見や要望、提案が出された。発言の中には重複したものもあり、整理すると概ね以下のとおり。

事前の情報が欲しい 登録の申し込みは各自とされたがインターネットの使用法が難しく連合会で対応してほしい 現地では会議の進行に関するブリーフィングや意見交換など、情報を共有する必要がある これらの作業を進行するための専任担当者を決めてはどうか

役員会では、今後このような意見を参考にしながら対応を検討する。

今回出された意見・質問のうち、現時点で回答できるものは以下のとおり。

参加申し込みを含む旅行代理店との関係について = 連合会として一括して依頼していた時期もあったが、旅行日程の多様化、ネット申し込みの普及で、各人で代理店に依頼する方式をとっている

事前情報の把握について = 開催国とBPWI本部との調整がぎりぎりまで続くのが通常で、特に今回は開催地メキシコとInternational本部(バンコク)が離れていることもあり、プログラムを含む諸般の連絡はかなり遅れるものと予想される。通例途中経過は通報されない。

情報の処理について = International本部からの情報は、原則ネットで事務局 国際委員長 役員会 各クラブ会長のルートで伝えられる。会長レベルからクラブ会員への連絡は、クラブの体制による。

現地での情報共有について = 宿泊するホテルを手配する際に、参加者との会合の場所の確保を考慮する。但し費用は発生する。

専任担当者は広く募集することとし、詳細は別途各クラブへ連絡する。皆様のご協力を・・・。

連合会役員会報告

2006年7月8日 15:00~

於:タワーホール船堀 欠席:木下副会長

2006年度の第2回役員会は7月8日、「コンgresについて
の意見交換会」に引き続き同会場で行なわれた。

1) 役員体制について =

栗林事務局長が健康上の理由で休養を余儀なくされ、当面佐藤副会長(前事務局長)が代行する。休養が長期に及ぶ場合は改めて検討する。

2) 委員会事業計画の目標と進行状況報告 =

企画委員会 **ブロック研究会・ヤングスピーチコンテストの実施支援**

ブロック研究会等の日程:

- ・北海道東北ブロック...9月30日(土)苫小牧ク:出席役員 布柴(又は佐藤) ヤングsp 同日
- ・関東山梨ブロック...10月29日(日)関東ク:出席役員 佐藤 ヤングsp 同日
- ・中部ブロック...8月19日(土)愛知ク:出席役員 黒崎 ヤングsp 別日(未定)
- ・近畿ブロック...5月21日(日)堺ク:出席役員 黒崎 ヤングsp 別日(未定)
- ・西日本ブロック...11月11日(土)長崎:出席役員 黒崎 ヤングsp 同日

組織委員会 **12%以上の組織拡大と名簿配布**

- ・名簿の作成について、差し替え分の印刷を終了し、発送。
- ・差し替え式に変更して以降、会員負担の名簿制作費の確定が遅れ代金がみ請求となっていたことに対して改めて、1部750円(初期ファイル付+2回の差替・送料含む)を役員会で了承し各クラブに請求する。
- ・名簿制作にからむ初年度及び次年度分の立替金(佐藤事務局長:当時)の支払を了承(本日支払)
- ・名簿の作成方法について、個人情報の確保及び経費、需要状況などから、全会員に配布する必要があるか、今後検討する方向で一致。

国際委員長 **CSW インターン派遣事業の実施**

- ・インターンの募集要綱の配布先を拡大する
- ・インターンの選考基準は選考委員(黒崎、布柴、二ノ宮、平松)を中心に再度検討し確認する
- ・メキシコ・コンgresに関する情報は入手し次第、可能な限り、NLやメールで発信する

- ・ホストカントリー(BPW メキシコ)からコンgres参加予想人数の問い合わせがきているので15名程度と返信しておく

広報委員会 **NLの発行、HPの充実、ネットワークの確立**

- ・ニューズレター(NL)は、これまでにNo84を配布し、No85についてHPに掲載した。
- ・HPのみに掲載されたNLは、友の会がプリントし会員には印刷物として配布された。
- ・NLは、全国メールで適宜流している情報がある程度まとまったところで作成する。
- ・イベントの告知や募集などの情報はメールで順次流している。
- ・情報の流し方とその告知について検討の必要がある。

財務委員会 **在庫品などの販売**

- ・在庫品は=クリアファイル(49)、バッグ(63)、バッジ(150) Tシャツの在庫はほぼ完売、残りは次回のスピーチコンテスト景品に充当して完売
- ヤング委員会 **ヤングスピーチコンテストの実施とBPW Studentsの支援**
- ・ヤングスピーチコンテストを企画委員会と合同して実施
 - ・CSW インターンシップ事業を国際委員会と協力して推進
 - ・メンター制度の登録を受け付けているがほとんど登録なし
 - ・BPW Studentは、具体的な活動予定なし
 - ・事務所の更新料請求がきているが、予定通り支払いたいと提案し役員会で了承
 - ・事務所の維持管理費を削減することも検討の対象となっているが、代案がなく当分、現状維持。多くの資料の保管整理なども考慮する必要がある。

3) 50周年事業について

連合会としての発足は1958年であり、50周年記念事業を実施する場合、2007年或は2008年度となる。
イベントの企画を募集し、次回評議会で決定する。
50周年史(誌)をまとめる必要はあるか。

4) コンgresへの対応

意見交換会の発言をもとに、再度役員会で検討。
その場合、仕事の分担を明確にする必要がある。

財政基盤をどうするか、評議会に提案したが、まだ、どのクラブから意見・提案は来っていない。さらに全国に発信する

Report

第6回 東アジア女性フォーラム

開催地: 北京 平松 昌子

オリンピックを控えて盛り上がっている中国・北京。その北京で去る7月18日から3日間の日程で第6回東アジア女性フォーラムが開かれた。第1回は1994年、日本・江ノ島で開催され、安藤はつえ会長(当時)がいろいろ関わっておられたので、ご記憶の方があられるかもしれない。以後3年ごとに韓国・モンゴル・台湾・香港そして第6回が北京で開催された。次回は、2009年に日本での開催が決まっている。

東アジアの会合といえば、BPWでもそうだが、対象となる地域内国名が今ひとつ混乱する。日本、中国、韓国(ROK)、モンゴル、北朝鮮(DPRK)と、香港、台湾、澳門。これらにはTaiwan ChinaとすべてChinaがつく。それ故、ESCAPやAPECなど国連関係の会議では、「Country」ではなく「Economy」を使用する。今回は、域内全ての国と地域が参加した。ロケット騒ぎの直後ということもあって、朝鮮DPRKの参加が危ぶまれたが、中国は威信にかけてもということで、主催団体である中国婦女連は、ピョンヤンに足を運んで参加を促したという。

ジェンダー平等と持続可能な開発ー グローバル時代に於ける東アジアの女性たちにとっての機会、挑戦、行動ーこれがフォーラムのテーマだった。

会議を通して、中国側の発言に美しい調和ある社会 Beautiful and Harmonious Society とか調和ある開発 Harmonious Development、或は美しい生活 Beautiful Life をという言葉が頻発された。

[1日目]各国代表によるスピーチが行なわれた。

トップバッターは北朝鮮(DPRK)のり・朝鮮民主女性同盟代表。英語でスピーチ。印象に残った言葉は、「女性はいつも最初の犠牲者である - -Women remain the first victims to...」。数字で示した女性の議員進出度、最高人民会議では20.1%、道レベルで23.9%そして町村レベルで25.3%の女性代表が選出されていると強調した。「キムイルソン主席の...」発言は2回だった。

2番目は日本の坂東真理子さん、「日本の秘密兵器は女性である、なぜなら寿命は長く、教育は高く、オリンピックではメダルを取り、芸術分野でも世界的コンテストで受賞するなど活躍しているからと女性像を描いた後、日本の女性問題について、歴史的に、そして現状さらに将来展望などを盛り込んだA4サイズ9枚に及ぶ原稿を用意した。終了後の本人のコメントは、政府答弁みたいだったかしら。

3番目は、モンゴルのツ・自由女性知的団体会長。

1990年の自由経済体制への変革がモンゴルの女性たちに大きな影響を残し、彼女らの社会的地位は競争原理の対象となって奪い取られた...と指摘したあと、「モンゴルの女性は男性ほど野心を持っていなかった」としながらもモンゴル女性たちの状況を次のように述べた。

変革で政府は若返り、改革を急ぐ男たちがすべてのポストを占めた。「入りたければ、自分たちでどうぞ」という男たちの姿勢に対して女性たちは、いくつものNGOを立ち上げ、1996年にはそれらを糾合して連合会を結成した。連合会では、経済・社会・人権について誰にでもわかる政策を掲げて運動を展開し、2006年には、ミレニアム開発挑戦目標値の設定に成功。この年行なわれた選挙法改正で、候補者の30%を女性にという規定を盛り込んだ。

女性にとって政治家とは何か、指導者とは、を明確に定義することで運動を進める姿勢を語った。

各国のスピーチは8人目の台湾代表を最後に夕方まで続いた。

夜は、人民大会堂での歓迎招待会、Gu副主席(婦女連会長)がホスト。副主席の左隣に北朝鮮代表、右隣に台湾代表、中国の気遣いを感じる。暖かいお母さんという雰囲気漂わせる副主席、「ジェンダー平等と持続可能な開発を求め、国際化が進む中で女性と政策決定、女性と経済そして平等を話し合うのは素晴らしいことだ。平等は男性たちの協力で達成される。隣国とは心を分かち合い、共に進む友情が必要」と挨拶。副主席はこの後、各テーブルを周り、参加者全員と握手し挨拶を交わした。

[2日目]は分科会。政治参画への機会と挑戦、経済的開発に向けての機会と挑戦、国家予算におけるジェンダー平等の主流化、政治に於ける女性の役割と能力育成、男女平等の社会安全保障、女性に対する伝統的固定観念の解消という六つのテーマに分かれて議論が行なわれた。どの分科会にも日本から最低一人が発言者となった。

平松はのグループで、「女性の経済活動への評価が重要であり、ジェンダー平等はデータをもとに主張すべきだ。国家予算におけるジェンダー関連予算を監視すべきだ」と指摘した。予算への関心では参加者の関心を集めた。

[3日目]は、北京市開発計画展示館の見学。オリンピックを控え全北京市の開発計画が展示されており、参加者は大満足の状態。

この会合を取り仕切ったのは、中国婦女連合会の国際部。張静部長を初めスタッフはほとんどが日本語堪能だった。3年後に日本での開催が決まっている。関心のある方は事務局へ連絡を。

BPW 国際連合会の動きをウォッチング

BPW News International Quarter 1.2006 より

[抜粋] = 特に BPW International の活動に関連する国際本部の新方針を中心に紹介。

BPW の今後の課題への対応

BPW という名称について

ブランドの大切さは重要な問題だが、現在名称だけでも、International Federation of Business & Professional Women (IFBPW) と Business & Professional Women International (BPW International) さらには、古い組織では、従来からの名称が生きているところがある。日常は、BPW International を使用する団体が多いのに対し、国連などでは依然として IFBPW が使用されている。検討のうへ、一定の年次(2008 年とか)に一本化を実施したい。

BPW とは何かということについて

創立から 75 年を経て、活動の幅が広がり、特に 1995 年採択された北京行動綱領が 12 の重要課題を指摘して以降、その実行が求められてきた。しかし、その対象は広く、その全てに取り組みれば結局何もしないで終わるという結果になる。そのために：

BPW は、他の団体と差別化をするための焦点(FOCUS)を設定する必要がある。

一つは、会員個人のレベル = 創設者フィリップ博士の理念を受け継ぎ、職業を持つ全ての女性(all women in business & Professional)のために貢献すること。

もう一つは、組織のレベル = これは樹木にたとえよう。

根の部分 国連を通しての活動である。CSW の初代 NGO 議長を勤めたエスター・ハイマーも会員であった。

幹の部分 あらゆるレベルの女性たちの中に、職業的活力、及び指導的活力を養成する事。BPW の目的は、女性たちのために女性たちを助けることであり、就職及び再就職を求める女性たちを支援し、仕事と生活の調和を支援し、彼女等の権利を守り、女性が発展するための環境を整えるために活動すること。

果実とは、女性と男性が、同じような役割と決定権をもつようになることを目指す。そのために今不足していることは、性別に伴う統計資料が不足している。資料が出来ればまた、女性が責任ある地位に押し上げることが出来、女性がその地位につけば、女性の貢献度を示すデータの表示も可能になる。

こうした行動を BPW の皆が取れば、他の国際組織の女性団体より違った存在となりうるはずだ。

委員会とタスクフォース(作業部会)の強化について

BPW 活動は地域レベルでは活発だが、国際レベルでは、委員会やタスクフォースを通じてメンバーの専門知識を効果的に伝える力がないことが問題の一つである。

国際 BPW 連合会は、それぞれ 6 人のメンバーを限度と

する 25 の委員会とタスクフォースがあるにもかかわらず、予算は非常に限られ、長期プロジェクトはほとんどない。メンバー国にはもっと活動に参加したい意思があるにもかかわらずである。

このため役員会としては、委員会とタスクフォースの活動強化は緊急改革を必要とする最優先課題であるとして、委員会やタスクフォースにより多くの予算をつけ、活動の強化を図ることを決めた。そのために：

能力の高い世界中の BPW メンバーに関わってもらうため、試験的に 10 の委員会・タスクフォースをフォーカルポイントとして選定し、予算と人材を配置することとした。

2005 - 2008 年のフォーカルポイントは以下のとおり。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ビジネス、貿易、技術 | 2. 開発、研修、雇用 |
| 3. 交流(フレンズ) | 4. 資金調達 |
| 5. 保健 | 6. 法律 |
| 7. メンバーシップ | 8. 新人研修 |
| 9. プロジェクト | 10. 広報 |

委員会とタスクフォースへの予算配分について

委員会とタスクフォースは、資金を必要とするプロジェクト案(2006 8 年における)を BPW International 事務局 (president.office@bpw-international.org) に提出し、国際役員会の審査を受ける。BPW の目的推進に大きなインパクトをもたらすような案件、最大5件に各 1000USドルの資金を提供する。この資金は会合参加のための交通費や宿泊費には充てられない。

Web と関心グループについて

委員会やタスクフォースの活動を広めるため、各委員会/タスクフォースに与えられた web サイトで活動メンバーを募集する。メンバーは各委員会/タスクフォースの関心グループとして登録できる。Eメールにてこれらの活動についての情報を得ることができる。

kongressでのワークショップ

各委員会やタスクフォースは kongress で、ワークショップを開催することができる。これにより BPW の業績をよりはっきりと提示し、継続性を持たせることができる。

リーダーシップタスクフォースの新要因

2005 年 2008 年の 3 年間に於ける国際テーマは、リーダーシップの新要因である。

このテーマについて、全てのクラブ、連合会、アソシエーツなど、各 BPW メンバーは積極的に関わることができるように、BPW International は様々な機会を提供してきた。

1. 「リーダーシップの新要因」セミナー

2006 年 2 月 23 日、タスクフォース(座長:アントワネット前 IF 会長)により、国連 CSW に先立って設定された。(於: NY) 第一回セミナーは 15 カ国から 30BPW の参加があり成功裏に行われた。参加者は以下の質問に答えた。

- ・どんなレベルにおいても女性の職業潜在能力開発に関し、ネットワークによりどのように素晴らしいリーダーを輩出できるか。
 - ・国際レベルでこの目標達成のために何が必要か。
 - ・重要課題には、ネットワークに、より効果的に重点が置かれる21世紀に、どのような新戦略/組織構造が使われるか。セミナーでは状況分析と女性が自分達の目標達成により近づくような戦略、課題を議論する。
 - ・BPWメンバーとBPWネットワークにとって新しいリーダーシップの要因は何か。「リーダーシップの新要因」のタスクフォースはweb上に新要因を紹介し各BPWメンバーやクラブは自分達のリーダーの新要因を知らせるよう求められている。2007年2月22日次回セミナーが開催される予定。
2. ファシリテーター研修 IDP(個人開発プログラム)セミナー
BPW USAが2006年2月24、25日に、第1回セミナーに続き、ニューヨークで開催した。この研修に参加した者には所属クラブでこの研修を開くことが認められる。次回セミナーの開催は、2007年2月23、24日、同じく国連本部でのCSW年次会合に先立つ日程を予定している。
3. クラブレベルでのパネルディスカッション「リーダーシップの新側面」
各クラブと連合会に対し、2006年あるいは2007年にこのパネルディスカッション開催を要求する。
4. タスクフォース「リーダーシップの新側面」
各BPWはこの国際統一テーマに関するタスクフォースの関心グループのメンバーになることができる。
活動についての情報や報告の詳細はWebsite参照。
www.bpw-international.org

各国連合会の動静

フランス / リールとトゥールーズに2つの新しいクラブが設立された。フランスBPWは年次会合を2006年1月28日パリで行い、ヤングBPWを再スタートさせる。

キプロス / 女性世界サミットが、国際女性企業家賞を故Artemis Toumazi氏に対しキプロスの女性共同組合銀行事業における業績を認めて贈呈。

トルコ / 初のトルコBPWクラブとして、アンカラクラブが、2006年2月11日設立。祝賀会がアンカラで開催され、参加者は100人を超えた。

アルゼンチン / アルゼンチンBPWは15クラブ、250人のメンバーを有し、メンバーはビジネス、貿易、技術、保健などで活動展開している。

チリ / チリBPWは10クラブ、会員数118人。メンバーは農業、芸術、文化、ビジネス、貿易などで活動を展開している。

パナマ / BPWパナマクラブの会長はAlbertina B de Brugiatiでメンバーは25人。ビジネス、貿易、広報など

の委員会がある。

エジプト / BPWアフリカ地域会議が2006年4月カイロで開催された。テーマは「女性の経済的エンパワメント」。世界中のゲストスピーカーが取り上げたテーマは：女性のリーダーシップ、経済開発におけるビジネスに携わる女性の役割、社会発展におけるビジネス界女性の役割
アフリカ、アラブ地域、地中海地域のBPWが、経験やプロジェクト(中小企業、新資金調達法、女性とICT、女性の企業家促進、アフリカ、アラブ地域の経済的統合、地中海地域のビジネスパートナーシップ、アフリカにおける女性のビジネスチャンスなど)について意見を交換した。

ブルキナファソ / ブルキナファソ ウアガドゥグ BPWは「女性とエイズ」に関する会議を2006年2月8-10日に開催。ニジェール、セネガル、スウェーデン、スイスから60人の女性と数人の男性が参加した。メンバーは国連人口基金(UNFPA)局長と会見し、ウアガドゥグ国連事務局の共通プロジェクトについて話し合った。BPWウアガドゥグの教母である首相夫人がBPWメンバー全員を夕食会に招いた。会議後BPWメンバーの会社やビジネスをいろいろ見学した。

韓国 / Chonchanok 会長とヤング BPW 委員長 Rooma Para、BPW フィリピン Nona icafort 会長は日本、フィリピン、韓国からの BPW メンバーと共にソウル・Sookmyong 女子大学で開催された2005年8月22-23日デジタル経済についてのAPECフォーラム、2005年8月24-26日DaeguでのAPEC女性リーダーネットワーク(WLN)に参加した。Chonchanok 博士はオンラインバンキングサービス戦略について、Rooma ParaはE-ビジネス研修 女性エンパワメントへのたゆまぬ努力について講演した。韓国 BPW は全国紙 2社に二人のインタビュー記事がDaeguでのAPECWLN開催中に掲載されるよう手配し、BPWをアピールした。

パキスタン / Chonchanok 会長はパキスタン BPW 年次会議(2006年1月14、15日)に出席し、「女性がオフィスに座る時間よりむしろ質の高い女性の仕事を開拓する必要性と、女性がトップになったときの投資リターンを上げる必要性を強調した。Salima Ahmad 博士はフェアウェルパーティで、Chonchanok 会長がアジアから初めてのBPWインターナショナル会長になった功績を称え、Khadicha Tul Kulbra ゴールドメダルを彼女に授与した。

台湾 / 台北BPWが2006年3月11日に開催した式典に Chonchanok 会長が出席。台湾BPWの強みはメンバーが政治界とのつながりを多く持っていることである。台湾はジェンダー問題に関するデータ収集などかなり進んでおり、政府への女性参加率が高い。

タイ / 2006年3月、第10回世界女性優秀企業家授賞式が開催され、受賞者15人中2人はタイBPWメンバーだった。次回の授賞式は2007年アフリカで開催される。

新たな活躍の場を求めて...再度、転職しました。

BPW 東京クラブ 澤田 順

私はもともと京都に生まれ育ち、大学は理系の学部を卒業し、専門を生かすという意味では順当に「研究職」という職種で就職し、社会人としてスタートを切りました。その頃は男女機会均等雇用法が施行された創世記の時代で、パブルあり会社のバックアップあり、非常に楽しく充実した社会人生活を送っていました。入社 3 年目から社内では女性として初めて大学の研究室に出向し、ちょうどその時期に芦屋クラブの大先輩であった故津村咲子さんを紹介されたのです。仕事もプライベートもこれ以上ない広がりがありました。今も私のベースとなっているのはこの時代に培った人の輪が大きな部分であると思っています。

さてその後結婚を機に、これも社内で女性として初めて東京に転勤し、職種も営業色が強い方向へシフトしました。その頃は女性の営業職というのは(少なくともその業界では)ほとんど初めてに近い存在だったので、「女性であるだけで目立つ」ことが非常にポジティブに働き、これまたやりがいのある数年間を過ごせた。BPW において最もアクティブだったのがこの頃で、YCW(現在のヤング BPW)委員会のリーダーとして国際組織の中で貴重な経験をすることができました。その経験から得たスキルと自信が最初の転職の原動力となっています。

それまでは日本の企業で研究職から技術営業職として働いていましたが、アジア・パシフィック地域のマーケティングを担当するという誘いを受け、2000年にアメリカ本社の企業に移りました。自分でも意外な程あっさり決めて転職しましたが、基本的に競合他社に移ったということで業界のこともわかっており、自分が技術的に優位に立てるポジションであったことから、大きな障壁もなくスムーズに新しい職場に溶け込むことができました。その頃長男は 2 歳弱、年間 10 回以上の海外出張で「子連れ出張」となったことも何回もありました。

それから 6 年半、今また新たな職場に移りました。今回は技術を売り物にはなく、小さいながら一つのビジネスユニットを任すということでオファーを受け、新しいことにチャレンジしてみようと思ったのが発端です。これには、ビジネススクールに通ったことが大きなきっかけとなりました。前職において、経験からだけではない体系だったビジネススキルを学ぶ必要性を感じ、シカゴ大学院の MBA コースに入学したのが 2003 年、そ

の後約 2 年間シカゴ・シンガポール・バルセロナという 3 都市のキャンパスにて文字通り「勉強」をしました。この「勉強」というのが半端ではない量な上、仕事を続けながらの通学ですから、並大抵の体力では持ちません。しかもコースをスタートしてから妊娠が判明、どうしたものかと少し思案しましたが、結局そのまま突っ走り、幸いにも単位を落とすことなく 1 歳になった長女を抱いて卒業式を迎えることができました。卒業してからは、職場での担当や責任も変わり、それはそれでやりがいを持ってやっていました。しかし、それに飽き足らず、また新たな場を求めて転職を決意したというところでしょうか。

現在スイスの企業に移ってまだ 1 ヶ月、この先何がどうなるかは未だわかりませんが、新しい職場で楽しくやっています。会社が違うといろいろと違う点があり、今はまだ観察段階ながらおもしろく仕事を進めています。これまでよりもさらにマネジメントにシフトしたポジションなので、人とのコミュニケーションが益々大事であることを痛感しています。新しい場では自分のやり方を押し付けるのではなく、それまでの方法や体制を理解・分析した上で、自分が貢献していけるところを探していこうと考えています。

これまで私は自分が主体となって努力してきたことで、後悔したことはありません。勿論自分一人で達成できることは限られており、私の場合常に周囲に素晴らしい人達がいて、励ましてくれたりサポートしてくれたりといったことがあったからこそこのように思える、これはとても幸せなことだと思っています。さて、3 年後にどうなっているか、お楽しみ...変わらず、精一杯頑張っていきたいと思います。

新たな職場環境 企業合併のなかで

連合会副会長 佐藤道子

最近企業の合併、買収など企業の経営体の動きが活発ですが、話だけではなく、それをまさに体験中。経営者の交代だけではなく、経営母体の変更は、日常業務にも様々な変化があり、いながらにして転職したようで、働く職場・担当業務は同じでも、企業文化が異なるシステムについていくのが精一杯の現状で、「余裕」というものもどこかにおいてきてしまったような毎日です。企業統合によるあらたなビジョン・社員のチャレンジなど、前向きな話題もいろいろありますが、今は、体調管理が第一課題の毎日...。自分で選んだ転職と、社員個人に選択の余地が無かった環境変化の違いでしょうか...

スキューバ・ダイビングに魅せられて

連合会会長 黒崎伸子(長崎クラブ)

ダイビング歴 17年 1989年、私は32歳でスキューバ・ダイビングのライセンスを取得した。動機は極めて不純で、研修 2年目に知り合った心臓外科医の彼は、遊び人で週末になると海に出かけていて、私もその仲間になりたかったのだが…。しかし、仕事も忙しくなり、海に行くのは夏休みの海外だけなので、まだ140本しか潜っていない。(ダイビング1回につき、タンク1本を使うので、経験を聞くとき「何本潜った?」と聞く。)今までに出かけた海は、紅海/エジプト、タヒチ、グレートバリアリーフ/オーストラリア、フィジー、インドネシア、セブ/フィリピン、コズメル/メキシコ、ホジュラス、ジャマイカ、モルジブ、パラオ、ロタ、ハワイ。国内では、沖縄、五島/長崎。

ヨーロッパ人の憧れの海 今年は7月末にパラオで潜った。たった3泊5日だが、いい人たちに出会い、1週間くらい旅した気分であった。インストラクターの陽子さんと会うのは3回目、パラオで働き始めて6年目。イスラエル人夫妻が経営するこのダイブショップは海外からのダイバーが多いが、たくさん日本人リピーターが陽子さんを頼って来る。東京農大時代に始めたダイビングを仕事に選び、プロ意識のしっかりした女性である。

7月のパラオはまだ日本人が少ない。イギリス人エイドリアンとオランダ人ピーターは私と同じ一人旅。スサーナとフランク夫妻はドイツ人で、かなりのダイビング歴。エイドリアンは東京で働いていて、日本女性と付き合っているらしい。ピーターは、「こんな騒々しいオランダ人は見たことない!」と皆がいうほど、やんちゃ坊主!(と言っても、36歳)フランクたちは、やっと長い休暇をとって憧れのパラオに来たという。ドイツでも続けて休むのは難しいらしい。夕方もしっかりに食事に出かけるなど、この4人のおかげで楽しい時間が過ごせた。

マンタと遭遇 パラオのベストシーズンは12月~1月なので、夏はギャンプルだ。確かに、今回も1日目は朝から小雨で時折叩きつけるように降って、透明度はかなり悪かった。ところが、翌日からはカンカン照りで、最高のコンディション。私より数日早くからきていた4人も、心待ちにしていたダイビングスポットに行けた。海の中は、手やタンクを叩く音で合図を出し、目や手で会話をする。珍しい魚などを見つけると仲間に知らせるが、サメはあきるほど泳いでいるし、カメやナポレオンフィッシュにも、何度も出会った。なかなか会えないマンタにも遭遇し、3日目は5mくらいあった。

体脂肪は浮く! 器材をつけ、船のへりに座って後方にひっくり返って(バックロール)海に入る。1本のタンクで潜れる時間は、深さにもよるが、だいたい40~50分。熟練すると、もう少し長くなる。深さは地形によってさまざま、ドロップオフのようなさんご礁の壁沿いだと、つい深く

パラオのダイブショップ Fish'n Fin のインストラクター-陽子さんと



なりがちで、30m前後だが、通常は20~25m。水の中に深くに長くいると血液の中に空気が圧縮されているので、終了時に急上昇すると血中に空気の泡ができて、重要臓器を障害するのが潜水病である。したがって、浮上時最後の5m前後で5分間の安全停止をしないといけないが、これがなかなか難しい。波に揺られながらどんな条件でも一定の位置を保てるようになるには、50本以上の経験がいる。それから、ウェイト…。空気を含む数mm.の厚さのウェットスーツと自分の体の脂肪の分、フツウの人は数kgの錘をつけないとなかなかスムーズに沈まないのである。若い頃は筋肉質だった私は、1-2kgのウェイトで潜れたのに、中年過ぎた今は、3-4kgがないと沈まなくなってしまった。

年をとってもOK! 10年前、フィジーで出会った日本人男性は青森出身の73歳、会社経営を息子に譲った70歳から念願のダイビングを始め、初の海外挑戦、インストラクターの英語をいつも私が通訳していっしょに潜った。スポーツというより、レジャーの一種のスキューバ・ダイビングは、高齢になってもできる。携帯も通じない海の中、すべてを忘れて、魚たちといっしょになった気分、海の中の地形を楽しみながら遊泳するのは、一度やったら止められない。みなさん、チャンスがあれば、ぜひ、挑戦してみたいいかがでしょうか?

パラオで出会った仲間たち



リージョナルミーティングのご案内

アジア太平洋地区の会合が来年(2007)5月12日(土)～15日(火)韓国のソウルで開催される。12日は開会式とレセプション。またこれに先立って5月10日(木)～13日(日)の4日間、ヤング BPW の世界大会も予定されている。韓国はこうした国際会議にとっても熱心であり、レセプションも彩り豊かなものになるとは、想像される。

九州から船で釜山に行き、ここから特急(新幹線並の列車)でソウルに行くのも面白いかもしれない。

内閣交代・安倍内閣発足・
さてその政策は

ところで、ニュースレターを準備しているうちに、自民党の総裁選挙が行なわれ、予想通り安倍晋三氏が総理の座についた。組閣に伴う関連ポストの名簿を見る限り、男女共同参画の推進という点では、極めて疑問を抱かざるを得ないようだ。教育基本法の改定を最大項目と掲げる安倍内閣、さらに憲法改正に手をつけるという。これに対し、議論することは別に悪いことではないという人たちもいるのは事実だ。しかし、これはまずい。

3人の自民党総裁候補に国際婦人年連絡会として公開質問状を送付したが、安倍氏の回答は、わずかに8行。「豊かで活力ある社会を実現し、…、再チャレンジできる社会の実現のために、女性の力を積極的に推進していきたいと考えています。」「女性の力を推進する」って下線部分、意味わかりますか。

編集後記

連合会広報を平松前会長にお願いし、佐藤がサポートに回ったはずなのに足を引っ張ってばかりで発行が大変遅くなってしまいました、反省。佐藤



山形クラブ10周年記念講演



第21回 男女共同参画推進会議と来年度予算

男女共同参画会議は、有識者と団体の推薦の委員らで構成され、男女共同参画推進について政府側の意見を聞き、必要に応じて提案などを行なう組織で、先月(9月)その全体会議が、総理大臣官邸で開催された。出席者は猪口大臣、板東新局長ら男女共同参画局の審議官や課長など、日本BPW連合会からは平松がその議員として出席した。

冒頭猪口大臣が挨拶し、最重要課題として取り組むものとして、2020年までに指導的地位を占める女性の比率の30%実現を目指すこと、女性の再チャレンジ支援及び、「仕事と生活の調和」事業を推進すると強調した。これらの事業を行なう為に、内閣府(参画局)は、女性の再チャレンジ支援策に9900万円、チャレンジ支援推進事業に5300万円、男女の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進事業に4700万円、などなどで総額5億5800万円(対前年度比39.3%増)を来年度予算の概算要求で計上し提出したという。今後財務省との折衝、国会審議を経て、来年4月までに決定するが…。男女共同参画事業に対する政府の熱意は、国家予算の中に占めるジェンダー関連の予算比率で解る。そのジェンダー関連予算は、内閣府だけではなく他の省庁からも出されている。例えば、国立女性教育会館は文部科学省に対し、資料を保存するアーカイブセンターの設立にむけて4億1800万円を要求している。これには女性団体も支援アピールをだした。これから本格的な予算折衝に入る。へんな項目がジェンダー予算といわれないう注目しよう。